

農業委員会だより

農業委員会 ☎(32) 8915

会長あいさつ

農業委員会 会長 伊澤健二

初冬の候、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より農業委員会活動に対しまして深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

農業委員会法が改正され、この度、農業委員に任命され、9月4日の第1回下野市農業委員会総会において、農業委員各位の推挙により会長に選出していただき、職務の重責を痛感しております。また、新しく農地利用最適化推進委員が誕生し農業委員会の活動が、更なる発展と充実を目指して決意を新たにしているところです。

今、我が国の農業は、自由貿易協定に代表されるように国際化が進行する中、国内においては、米価の下落、農業資材の高騰、農業従事者の高齢化や担い手不足、遊休農地の増加など、厳しい状況が続いております。

こうした中、国は「新たな食糧・農業・農村基本計画」に基づき農政改革を進めております。

本市においては、「食の安全・安心」を基本に、食糧の安定供給を確保し、農地の集積や集約化、農産物のブランド化による農業者の所得向上、新規就農者の発掘と支援など、農村の活性化に向けた活動の推進に取り組んでおります。

農業を取り巻く厳しい環境の中、農業委員と農地利用最適化推進委員が一丸となって時代の変化に対応すべく、これまで以上に、現場に密着した活動を展開し「土地と人」「農業の効率化」の強化を図り、地域農業の維持・発展に向け、農業委員会の果たすべき役割は非常に重要であると考えております。

また、地域の農業者や農業団体、さらには、農業後継者や新規就農者の皆さんと意見交換しつつ本市農業の「あるべき姿」を求めていくことがこれからの目標だと考えております。

農業委員と農地利用最適化推進委員がともに研鑽を深め、協力して本市の農業・農村の健全な発展に資するよう貢献できるよう努めてまいりますので、皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

農業委員紹介

9月に新しく農業委員になられた方々に意気込みをお伺いしました。

(順不同・敬称略)



伊澤健二(会長)

《本吉田北・南、川島、上吉田》
農業を守り、発展させるため、農家の皆さまと共に下野市農業の「あるべき姿」を求めて活動して参りますので、よろしくお願ひします。



大槌保夫(職務代理)

《石橋、花の木、大松山、上大領、中大領》
引き続き農業委員に選任され責任の重大さを感じております。優良農地の確保と担い手の育成など下野市農政の発展のため努めて参ります。



井上正男(職務代理)

《川東、川北、川南、駅前、下町、仲町》
推進委員の皆さんと、連携を密に図りながら職務をつとめさせて頂きたいと思ひます。地域の皆さまのご理解とご協力をお願ひします。



高田正枝

《細谷、橋本、上台》
地域農業の振興のため、農業委員として意欲的に活動できるよう努力してまいります。



大島久夫

《塚越、的場、上坪山、東根、絹板、絹板台、台坪山、西坪山》
地域の皆さまにお世話になり再選することが出来ました。優しい、親切、頼りになるをモットーに、地域農業発展のために頑張ります。



黒川 悟

《東前原、下大領、入の谷、下石橋》
担い手への農地の利用集積、耕作放棄地の発生防止・解消など課題が多くあります。これらの問題を推進委員と協力し合い進めます。



若松洋一

《下長田、下古山1区～3区、通古山1・2区、若林南・北》
農業振興と適正な農地行政に取り組み、推進委員と連携し、担い手への農地利用集積など「農地利用最適化活動」を推進していきます。



大高京子

《関根井、笹原、上町、医大前》
農村生活研究グループ協議会より推薦して頂きました。皆さまのご指導を受けながら勉強させて頂き、少しずつでも役立てよう頑張ります。